土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-6	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外	北緯	34° 23’ 49.6068″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月15日～ 令和3年 1月20日	東経	132° 31’ 37.3796″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 124.06m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	6° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-0C / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	122.76	1.30		砂		淡黄灰	rd1		未固結の砂からなる。 全体に粒径不均一。 やや粘性を帯びる。 表層付近は粗粒砂が優勢。	
2	122.06	2.00		シルト混り砂		灰			未固結のシルト混り砂。 細粒分が多く、粘性を帯びる。	
3	121.16	2.90		玉石混り砂礫		淡灰	rd5		密実な玉石混り砂礫。 コア長40cm前後の玉石が連続。 岩片非常に硬質。	
4				花崗岩					花崗岩(軟岩)。 岩片硬質を呈し、ハンマー打撃で金属音を発す。 柱～棒状コア主体で採取。 深度4.7m付近より亀裂が発達し、片状コア主体で採取される。	
5	119.06	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1	2	1	4		
	1.60		150	200	450		
50以上	2.00	貫	入	不	能	50	0
50以上	2.90	50			50	100	
	3.00				100		
50以上	3.85	3	47		50	200	
	4.05				200		
50以上	5.00	50			50	20	
	5.02	20			20		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/18
				1/19